



「加東市」がスタート!!

平成十八年三月二十日、「加東市」が誕生しました。

当日は、加東市役所各庁舎(社庁舎・滝野庁舎・東条庁舎)玄関前で開庁式典が行われました。

社庁舎では、井上国會議員や小林県會議員、北播磨県民局長などの来賓のほか、旧合併協議会委員や旧三町の議會議長、旧社町区長、新市議會議員を迎え、市職員や市民のみなさんが見守る中、式が開かれました。

旧三町の議會議長、旧社町区長会長および旧池市長職務執行者による銘板除幕の後、市長職務執行者が式辞を述べました。来賓の方々から



祝辞を頂いた後、来賓の方々や市長職務執行者などによりテープカットが行われ、新市の船出を祝いました。

時を同じくして、滝野庁舎、東条庁舎においても同様の式典が開かれ、旧合併協議会委員や旧各町区長会長、新市議會議員などの関係者や市職員、市民のみなさんが出席し、除幕やテープカットなどが執り行われました。

たった今、「加東市」としてスタート地点に立ったところで、これからが始まりです。市民のみなさんで、「安心して暮らせるまち」「笑いの絶えないまち」と言えるような明るいまちにしていきますよ。

加東市を紹介します

新市は、兵庫県中央部や南より位置し、東は篠山市、三田市、南は小野市、三木市、西は加西市、北は西脇市と接しており、総面積は約百五十七平方キロメートルです。人口は約四万人、世帯数は約二万四千世帯となっています。

地形では、御獄山、三草山などの山や加古川(鬮龍灘など)、東条湖などの雄大な自然が形成されています。

中国自動車道と国道一七五号・三二二号が交差するまちとして、その利便性を生かし製造業、流通業などが進出し、さまざまな産業が発展しています。市街地などの整備が進む一方、釣り針や鯉のぼりなどの地場産業も有名で、全国有数の産地となっています。また、酒造好適米の山田錦が盛んに栽培され、近年では、地域特性を生かした近郊農業や観光農業が発展しつつあります。

国宝の朝光寺や上鴨川住吉神社、若宮八幡宮などの重要な文化財を有するとともに、県内最大の公園である播磨中央公園をはじめ、ゴルフ場や温

泉施設(ほかほ・とどろき荘)、東条湖おもちゃ王国、やしろ鴨川の郷などの観光・レジャー施設も充実しており、阪神地域居住者の気軽な週末余暇・レクリエーションの場となっています。

新市のまちづくりの基本方針は、「山よし! 技よし! 文化よし! 夢がきらめく 元気なまち 加東」です。合併により、さらに地域の資源である豊かな自然環境を生かし、これまでのまちづくりを継承しつつ、人と人のつながり、きずなを深め、産業や文化活動の活性化をめざし、「きずなが躍動する健康やかなまち」、「水と緑を生かす癒しのまち」、「ネットワークが支える快適なまち」を基本理念とし、魅力あふれるまちづくりをめざします。

